

駅体制の見直しについて 提案を受ける！

1. 実施内容と実施日

- ・土浦統括センター(龍ヶ崎市駅)お客さまサポートコールシステム導入
- ・いわき統括センター(泉駅)貨物列車の一部運転取止めに伴う作業ダイヤの見直し
- ・2025年4月1日実施

2. 箇所体制

箇所名		現行				改正					
		変形等	交代	乗務員		合計	変形等	交代	乗務員		合計
				日勤	泊				日勤	泊	
土浦統括センター	管理	9	5			14	9	5			14
	一般	16	10	10	32	68	17	9	9	32	67
いわき統括センター	管理	10	4			14	15	1			16
	一般	15	5	9	15	44	15	5	10	15	45

- ※「現行」は2025年3月ダイヤ改正前の体制を計上している。
- ※「改正」は「2025年3月ダイヤ改正について」及び「駅体制の見直しについて」の変更を反映している。
- ※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。
- ※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

主な労使議論

組合:今施策の目的を明らかにすること。

会社:効率的な業務執行体制を構築や生産性の向上、経営体質の抜本的強化に取り組むためである。

組合:龍ヶ崎市駅にお客さまサポートコールシステムを導入する理由を明らかにすること。

会社:新型コロナウイルス感染症以降、お客さまの乗車人員は減少している。またSuicaの利用に伴い、精算件数も少ない。お客さまのサービスレベルを低下せず、効率的な業務執行体制を構築する考えから、お客さまサポートコールシステムを導入する。

組合:施策実施に伴う体制やお客さまサポートコールシステム稼働時間帯の業務について明らかにすること。

会社:現行の一般3徹から2徹1日勤体制とする。お客さまサポートコールシステム稼働時間帯は社員の休憩時間や券売機類の締切業務、上下本線を発着する列車の乗降終了合図を掲出する業務を行う考えである。管理は現行の1徹体制は維持する。

組合:泉駅の貨物列車の一部運転取止めに伴う作業ダイヤの見直しを行う理由を明らかにすること。

会社:株式会社東邦亜鉛の亜鉛精錬事業撤退に伴い、貨物5094列車及び5095列車の運転が取止めとなる。泉駅当務駅長が入換業務を実施しているが、この業務が無くなるため作業ダイヤを見直す。

組合:泉駅での入換業務について、今後も継続する業務や体制を明らかにすること。

会社:貨物2094列車及び2095列車は今後も運転する。日勤時間帯で対応できるため、泉駅の管理を1徹体制から1日勤とする。一般は現行の1徹体制を継続する考えである。

JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！